

## 第8回 夏季セミナー報告

# 「数の基礎学習」～導入期の指導～

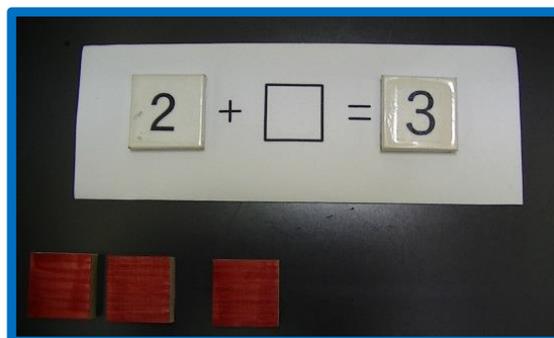
## —合成分解とたし算—

8月24日（土）に、第8回夏季セミナーを越谷市中央市民会館（埼玉県越谷市）で行いました。今回のテーマは「数の基礎学習」です。講師は宮城武久（つばき教育研究所理事長）、宇川和子（多摩つばき教育研究所所長）です。

「 $5 + 3 = ?$ 」に「8」と答えることはできても、「5と3はどっちが大きい?」「5は3よりいくつ多い?」には答えることができない子どもがいます。それは、たし算の答えを暗記しているからです。10までのたし算ができるようになるためには、①色々なものを数えこむこと、②同じということがわかること、③合成分解ができること、が必要です。

このセミナーでは、暗記や数えたしではない、合成分解を理解した、たし算の学習方法を学びました。

セミナーは、二人一組で指導者役と子ども役になり、演習を中心に進めました。【タイルを2つに分ける方法での合成分解】と【左辺と右辺を同じにする方法でのたし算】（右写真参照）の学習方法について、教材を使いながら熱心に演習しました。



講師からは「子どもと学習するときは、教材ではなく子どもの目をよく見るのが大切である。子どもの目を見ることで、子どもが何を考えているか手がかりを得られ、子どもの心を知ることになる。」という話がありました。子どもと学習するうえで最も大切なことを学ぶことができました。

以下、参加された方の感想です。

本当にわかりやすく、数の概念を学ぶことができました。たし算に向けてステップアップをするためには、合成分解の学習が必要であることがよくわかりました。

特別支援学校教諭

演習で子ども役もやらせていただいて、子どもの視点を学ぶことができました。これからも、子どもと一緒に学んでいきたいと思います。

保護者の方